

# 資料館だより

**No.33** 2010年

11月月

過去と未来がひびきあう

ーようこそ、エコミューズへ。 www.aozora.or.jp/shiryou/



#### 西淀中学校

### 「文化発表会」に行ってきました。

地域学習で「西淀川公害」を調べていた西淀中学校2年3組の展示を見に、10月1日「文化発表会」に行ってきました。

あおぞら財団および、西淀川公害患者と家族の会のメンバーが学校の授業で講師や語り部をしたり、その後、生徒さんたちが財団の資料館(エコミューズ)に来て、調べものをしたりして、成果をまとめました。その名も公害新聞。

次の5つのテーマで、一枚 一枚、壁新聞が作成され ていました。

<裁判・判決><公害に よる病気><大気汚染> <住民運動><今後の西 淀川>



壁に貼られた「公害新聞」

どれも文字がぎっしりつまっており、驚きました。「過去の西 淀川区は公害とかが悪かったけどこれからは良い西淀川区 をみんなで作りたいです」と感想が書いてありました。

## 西淀川公害の"被害の現場"を体感する **司法修習生の研修受け入れ**

近い将来、弁護士、検察官、裁判官になろうと研修中の司法修習生12名が、10月26日(火)に西淀川地域のフィールドワークに訪れました(引率弁護士2名)。午前中は、村松昭夫弁護士(あおぞら財団理事長)の講義、午後は、国道43号沿いや千北診療所、大野川緑陰道路など、西淀川区内を歩き、あおぞら財団にて患者さんの語り部や森脇君雄理事との意見交換会がありました。

「本当に向き合えば、お互い話し合いができる」―原告と被告、相対する者どうしでも、しっかり向き合うことで、解決の道を見出してきた森脇さんの言葉です。司法修習生からは、「どうしても、頭だけで法律論的なことを考えてしまうが、まず、感情的な部分でものごとをとらえたい。そして、いかに解決するかというところで、"理論"をどう使うかが腕のみせどころなんだと思う」といった感想がありました。

ただいま エコミューズの要は資料整理。 資料整理中 現場から生の声をお届けします。

## 「準備書面」と向きあって

この度、縁あってエコミュ ーズのお仕事をさせていた だくことになりました。裁判 記録「準備書面」の要約文 の入力を始めています。小



雨だれ入力」奮闘中

学校の教諭として子どもと一緒に走り回っていた仕事が長かった自分なのにパソコンの前に座り続けての仕事です。

裁判の準備書面の中にある大気汚染公害と戦った患者さんの生々しい証言など、今まで活字や映像資料になっていないものまで読むことが出来、この怒りこそが20年もの裁判闘争を支えた原動力ということが実感できました。

喘息発作のため眠ることができず何度も入・退院を繰り返し、 亡くなる前日には息子さんの手のひらに「ワタシ シヌ」「ワタ シ シヌ」と何度も何度もくり返し書きなが58歳の命を奪われ た西尾ヨシさんをはじめ、孫や子どもたちの成長を見届けた かった人々、病院がよいを続けなければならなかった患者さん、 青春の輝きを奪われた人々の事実を知ることが様々な取り組 みの出発であったはずです。

一次訴訟の「準備書面」だけでも全部で42分冊に製本された膨大な「裁判資料」は弁護団の皆さんが「気象班」「疫学班」「関連共同性班」「被害班」「道路班」「歴史班」の6つの班に分かれて研究者や専門家の協力で実現した共同研究の成果だったことも知ることができ、「一方的な被害者住民」と「加害大企業、国・道路公団」この関係を法廷の場で明確にすることの難しさを思い知らされました。「権力と財力に後押しされた被告弁護団との白兵戦」での勝利は、これからの「環境問題」だけではない「人権」や「民主主義」を求める運動への貴重な共同の財産であると実感します。

「ブラインドタッチ」のできない「雨だれ入力」で、ゆっくり・ゆっくりの作業中です。

エコミューズ資料整理スタッフ 天野憲一郎

★☆★所蔵資料紹介★☆★

教育現場で、公害と向き合う 一出来島小学校の取り組み一

今回は、エコミューズ所蔵資料『大 阪市立出来島小学校 昭和45年度公 害対策研究指定校 研究発表紀要』(谷 智恵子弁護士資料No.84)を紹介します。 同小学校は'70年度・'71年度に、大阪府・ 市、両教育委員会から「公害対策研究 学校」の指定を受け、教職員は、児童 に対する保健指導や公害学習の指導 方法を研究・実践しました。この紀要は '70年度の取り組みがまとめられたもの

です。

大気汚染から児童を守る ため、学校独自で大気汚染 注意報(二酸化硫黄 0.25ppm以上)·警報(0.4ppm 以上)の基準を作り、警報 時には、体育は講堂内・教 室内で実施または中止、休 憩時間は屋外に出させな い等のルールを設け、空気 清浄機の設置やうがい施設

の整備など施設面での対策も図られま した。また、ぜん息児童の保護者を対 象に健康相談を開いたり、「ぜん息日記」 や「ぜんそくカルテ」を作ったりして、一 人ひとりの症状の把握と改善に努めま した。さらに大気汚染に関する学習を、 道徳、社会科、体育、学校行事、学級 ブログ版 http://aozorabsw.exblog.jp/i11/

教職員の熱意が伝わる

指導などで実施するなど、公害教育に も積極的に取り組んでいることが分かり ます。

学校教育の現場が、公害から児童 を守り、そして立ち向かう力を育てるた めに奮闘するようすを伝える資料です。

アーキビストとは、文書や資料の収集・整理・保存に関わる専門家のことです。

1

2

4

8

9 3



## こんにちは新着図書です

エコミューズの資料が使われています 『新修豊中市史 诵史2』2010年3月

2009年の4月のある日、大学時 代の恩師から「豊中市史の公害担 当の部分を書いてほしい」との電話 がありました。びっくりしましたが、エ コミューズの資料を使う良い機会と 受け止め、引き受けることにしました。

豊中は固定発生源がない都市と



ハクセンシオマネキ

して初めて大気汚染の公害指定地域となりました。つまり「もらい公害」 です。市の花「キンモクセイ」が大気汚染で花が咲かなくなったことか ら、市の花の変更が議論されたことや、カネミ油症で問題となってい たPCB汚染が豊中でもあったことなどを書きました。神崎川がきれい になった証拠として、下流の矢倉海岸で見つかった、環境省のレッド リストに掲載されているハクセンシオマネキの写真も掲載しています。 あおぞら財団職員が撮影したものです。良かったらご覧ください。(林)

エコミュー ざ **古ミューズ活動** ズにおい 素付の ことつながります。 0 П 座 あなたの寄付金は青 あってを支えてくだ います。 圧番号】 9 の方法である方法 6 0 直振 9

どうぞお気軽

入っちゃお 交通費●実費支給 躍示 雌の場 お! 「エコミュウ Ê 理

活

さ一寄※ 口の金額はお選びく何」とご記入ください通信欄に「ハモン基金」のおぞら財 しびくだ 金財 の団

■ボランティアさん緊急募集!!! 新しい文書箱へ資料の詰め替えをします。 資料を永く保存するには、中性紙でできた保存専用 の文書箱に入れておく必要があります。 資料に触れる機会です。お待ちしてます。

ボランティア隊

#### 編集後記

「相手を追い詰めても、逃げ道はつくって おく。できたら、自分のところに逃げてくる ように」

本紙表面で紹介した司法修習生の受入 れのときに森脇理事から出た言葉です。 本気で闘ってきた人だからいえる言葉だ なあと思います。(Y)

資料館だより No.33 2010年11月号(隔月1日発行)

発行所 あおぞら財団付属 西淀川・公害と環境資料館 (エコミューズ)

連絡先 大阪市西淀川区千舟1-1-1 あおぞらビル5F(〒555-0013) TEL:06-6475-8885 FAX:06-6478-5885 Email: webmaster@aozora.or.ip http://www.aozora.or.jp/shiryou/

#### エコミューズは 青空を未来へ手渡す記録のひろば

西淀川の公害・環境、地域に関する記録資 料や環境学習の教材・ビデオなどが豊富で す。ぜひご利用ください

開館●月曜日、金曜日(祝日は休み) 10:00AM~5:00PM [要予約]

利用●図書の貸し出し期限は2週間 書庫資料や裁判記録は閲覧のみ

お 知 ら せ